

平成30年度アドミッションセンター事業報告書

アドミッションセンター長 前阪 茂樹

I. 主に取り組んだ事業（特記事項）

- (1) 平成33年度から実施する入学者選抜試験の実施方法について、学力の3要素を多面的かつ総合的に評価できる選抜方法を確立するため、従来の入試において実施している「面接」に代えて「プレゼンテーション＋口頭試問」を取り入れた選抜方法の導入を決定し、その内容を平成30年11月に公表した。
新たな選抜方法の導入に向けては、アドミッションセンター教員を主な構成員とする入試改革ワーキンググループにおいて、学生による模擬プレゼンテーションに対して、教員が実際に評価を行う「プレ評価トレーニング」及び「全体評価トレーニング」を実施し、課題の洗い出しや課題への対応を行った。
- (2) 前年度に引き続き、高等学校と連携して、A0(SS)入試合格者及び推薦入試合格者全員を対象に英語(e-learning)と国語(読書感想文)[A0(SS)入試合格者に対しては小論文を含む]の入学前教育を実施した。
- (3) 大学を取り巻く社会情勢を十分踏まえた上で、教育の質の向上を実現し得る適切な入学定員等について検討するための基礎資料を提供した。

II. 事業報告

1. 追跡調査

昨年度と同一の調査項目により、受験生及び入学者のデータを蓄積して分析・評価し、その結果を入試委員会及び教授会に報告した。

2. 入試広報

(1) 進学説明会等への参加(34会場・延べ518名に広報)

受験生及び入学者のデータを分析し、評価した結果を踏まえて策定した広報戦略に基づき、精選した進学説明会に出向いて広報を行うとともに、大学訪問の申し入れがあった高等学校等(63名)に対して個別対応を行った。

(2) A0(SS)入試広報

本学の実技等指導教員等と連携のもと、競技力優秀な志願者等へのA0(SS)入試広報のため、旅費を支給し支援を行った。

(広報活動支援件数：30件)

(3) 大学説明会等

○白水キャンパスにおける大学説明会(7/14：参加者179名、10/13：参加者141名、在学生協力 延べ13名)、体験授業(7/15：参加者延べ102名 在学生協力3名)を開催した。

○東京サテライトキャンパスにおける大学説明会(5/20：参加者19名、6/17：参加者15名、8/11：参加者45名、8/12：参加者26名、11/4：参加者21名、2/2：参加者23名、3/17：参加者18名の7回 卒業生協力 延べ11名)を開催した。

○本学学部学生を対象とした大学院進学説明会を4月に開催し、16名の参加を得た。

(4) 広報用チラシの活用

昨年度に引き続き、大学説明会等の情報を掲載した広報用のチラシを作成し、各種進学説明会等において配布した。

3. 入学前教育

前年度に引き続き、高等学校と連携して、A0(SS)入試合格者及び推薦入試合格者全員を対象に英語（e-learning）と国語（読書感想文）〔A0(SS)入試合格者に対しては小論文を含む〕の入学前教育を実施した。

また、英語の入学前教育については、進捗が思わしくない生徒に対し、メールで受講を促した。

4. 入学後教育

A0（SS）入試入学者1年生に対しては、小クラスで構成される「キャリアデザインⅠ」の授業において、学業、学生生活全般にわたる教育・指導を行った。2年生に対しては前期、後期の2回、個人面談、もしくはA0クラス面談を実施し、顧問教員とは違った側面から学業や競技力向上に関する指導やアドバイスを行った。

III. 決算報告

1. アドミッションセンター経費

事 項	予 算 額	決 算 額	差 額
○入試広報旅費	3,865,000 円	3,330,056 円	534,944 円
・ A0 入試広報旅費	2,640,000 円	2,002,110 円	637,890 円
・ 進学説明会等参加費	1,225,000 円	1,327,946 円	▲102,946 円
○入学前教育費用	274,000 円	273,003 円	997 円
○その他アルバイト等賃金、通信運搬料等	106,000 円	535,545 円	▲429,545 円
合計	4,245,000 円	4,138,604 円	106,396 円

IV. その他（学外会議参加）

1. 国立大学アドミッションセンター連絡会議（平成30年5月24日開催）
2. 全国大学入学者選抜研究連絡協議会大会（第13回）（平成30年5月24～26日開催）